

山口情報芸術センター [YCAM]

音楽家・大友良英「即興」の集大成、136日間の新作展がついに開幕

大友良英 + YCAM 新作展「即興！」

2026年10月17日（土）～2027年3月1日（月）

持田敦子との新作《Dance》、坂本龍一へのトリビュート作品《Duo》、Sachiko Mとの野外作品《Filaments Outside》の新作に加え、先行公開中の《without records》を展示

山口情報芸術センター [YCAM] にて、大友良英 + YCAM 新作展「即興！」が2026年10月17日（土）に開幕しました。会期は2027年3月1日（月）まで、136日間にわたって開催します。

本展は、大友の創作の基軸であり、人との交わりからしか生まれない予測不能な「即興」に目を向けた企画展で、大友とYCAM InterLab、そして異なるジャンルのアーティスト5名とのコラボレーションによる作品が一堂に会します。美術家・持田敦子との新作《Dance》、音楽家・坂本龍一へのトリビュート作品《Duo》、Sachiko Mとのユニット「Filament」による野外作品《Filaments Outside》に加え、7月24日より先行公開してきたサウンド・インスタレーション《without records》とともに、磯崎新設計によるYCAMの建物や周囲の環境と呼应しながら、多彩な音や存在がぶつかり合い、響き合う、予測不能な「即興」的インスタレーションの世界がひろがります。

開幕前日の2026年10月16日（金）に開催されたプレス内覧会当日は、出展参加によるギャラリートークのほか、同日に開催された「特別内覧会」で、伊



大友良英 + 持田敦子 + 伊藤隆之 + YCAM 《Dance》 (2026)
撮影：中村マユ (ToLoLo studio)



大友良英 + 坂本龍一 YCAMとのコラボレーション《Duo》 (2026)
撮影：中村マユ (ToLoLo studio)

山口情報芸術センター [YCAM] 学びと共創課 広報担当
TEL：083-901-2222 / Email：press@ycam.jp

【プレス問い合わせ】 広報事務局 担当：鎌倉 [hilo Press 内]
TEL：090-7239-1885 / Email：pr@hilopress.net

©本展の広報画像は右記URLにアクセス申請してください URL：<https://tinyurl.com/6navadn2>

藤和貴山口市長が登壇し挨拶を行いました。また、10月24日（土）に開催される、大友良英と市民が連動する特別企画「やまぐち秋の盆踊り2026」の概要も発表されました。市民有志や山中カメラ、福留麻里らと手がけた新作盆踊り「やまぐち盆唄」を、市民楽団・山口ゆあーん楽団の生演奏にのせて踊ります。さらにホワイエでは、全国のボランティアが各地で縫い継ぐ「大風呂敷プロジェクト」の新作版を《without records》と同じ空間に初展示。札幌、多治見、愛知、山口、福島・猪苗代、池袋の各都市で縫われた布が、中空に設置されました。



参加アーティスト（左から大友良英、持田敦子、伊藤隆之、Sachiko M、青山泰知）
撮影：塩見浩介

大友良英より、開幕にあたってのメッセージ

展覧会のタイトルになっている「即興」は僕にとってとても重要なものです。最初から決めたとおりを作るのではなく、人やもの、状況とコラボレーションしながら何かを作っていく、フレキシブルなやり方といったら良いのかな。今、この世の中で一番足りていないのが即興だと思っているくらいです。今回、持田敦子さんとは初めてのコラボが実現できました。最高でした。そして、これまで一緒にやってきた坂本龍一さん、Sachiko Mさん、青山泰知さん、伊藤隆之さん等と作りあげた作品たちが勢揃いしていますが、何よりどの作品もYCAMのスタッフみなと作り上げたものだということは強く言いたいです。こんなに一緒に時間をかけて作品をつくっていく体制が整っている施設は、世界中を見てもここしかないなって。それだけでなく作品の中には山口の人たちにいっぱい関わってもらっています。昨年から街中で始まった盆踊りを含め3年かけて山口の人たちとも一緒に

作品を作ってきました。施設は人だと思えます。専門家と街をつなぐYCAMのやり方やこの「即興！」展が、この先のモデルケースになればいいなとも思っています。

大友良英

本展のみどころ

1. 大友良英「即興」の集大成となる大規模展

大友にとって「即興」は創作の根幹。共演者や環境との相互作用から生まれる表現が基盤です。実践をインスタレーションとして再構成し、その可能性を改めて提示します。

2. 美術家・持田敦子とのコラボレーション 新作《Dance》

空き家の解体過程に介入する美術家・持田敦子。大友の音楽とノイズ、持田の作品が内包する生成と瓦解が響き合う新しい空間体験が新作《Dance》として結実します。

3. トリビュート作品 坂本龍一との即興演奏を生成する新作《Duo》

ピアノとギターで即興演奏を重ねてきた坂本龍一と大友。新作《Duo》はAIを使わず物理的な仕組みで両者の演奏を再現し、本人たち不在のまま永遠に演奏を生成します。

4. 18年ぶりのYCAMとのコラボレーション

2008年開催の「大友良英／ENSEMBLES」展は市民やアーティストとの「協働」がテーマ。18年を経て再びコラボレーションが実現し、「即興」の力を最大限に引き出します。



Filament (Sachiko M & 大友良英) + YCAM 《Filaments Outside》(2026)
撮影：中村マユ (ToLoLo studio)



大友良英 + 持田敦子 + 伊藤隆之 + YCAM 《Dance》(2026)
撮影：中村マユ (ToLoLo studio)

新作《Dance》 | ライブパフォーマンス「Play with 《Dance》」を毎週末開催！

空き家の解体現場から引き取られた柱や梁を組み上げた巨大な動く構造体が、YCAMの劇場空間スタジオAに出現します。家と人間の関係をダイナミックに変容させてきた美術家・持田敦子による構造体が生み出す複雑な動きと生々しい音に、大友良英が構成した無数のオブジェや家電から放たれる生音、ノイズが混じり合い、変化し続ける空間と音響が一体となって押し寄せます。世代もジャンルもキャリアも異なる大友と持田が、1年以上にわたる対話と試行錯誤を重ねて生み出した本作は、通常YCAM InterLabが開発した機構とシステムにより稼働していますが、毎週末開催のライブパフォーマンス「Play with 《Dance》」では週替わりでパフォーマーが集い、装置を手動で操りながら即興ライブを展開します。一般市民の出演者から、大友良英らアーティスト、ミュージシャンの参加も予定しています。



《Dance》制作の様子（2026）

撮影：板倉勇人（YCAM）

■ ライブパフォーマンス「Play with 《Dance》」

開催日時：本展会期中の毎週土曜日 15:30～

※但し、10月24日（土）は翌25日（日）に振替

2026年10月25日、31日、11月7日、14日、21日、28日、12月5日、12日、19日、26日、
2027年1月9日、16日、23日、30日、2月6日、13日、20日、27日

上演時間：30分程度

会場：スタジオA

パフォーマー：大友良英、一楽儀光、森岡繁、伊藤研二、山口ゆあーん楽団、ほか

※内容は変更する可能性があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

【関連展示】プロジェクトFUKUSHIMA! + 全国大風呂敷チーム《大風呂敷 YCAMバージョン》

2011年8月から開催されている「フェスティバルFUKUSHIMA!」の会場を飾る、色とりどりの布を繋ぎ合わせた巨大な「大風呂敷」。東日本大震災と原発事故の影響を受けた土地で誕生し、全国から届いた布が多くの人の手により縫い合わされてきました。「フェスティバルFUKUSHIMA!」のシンボルとなったこの大風呂敷は、各地の協働プロジェクトにも拡がり、新しいコミュニティを生み出しています。大友の集大成となる「即興！」展にあわせ、札幌、多治見、あいち、福島、猪苗代、池袋から「大風呂敷」を集め、山口でも新たに制作。青山泰知による空間構成のもと、《without records》が展示されるホワイエの中空に設置されています。



大友良英 + 青山泰知 + 伊藤隆之《without records》（2008-2026）+ 大風呂敷（2026）

撮影：中村マユ（ToLoLo studio）

■ プロジェクトFUKUSHIMA!

東日本大震災後、福島の現在と未来を世界に発信することを目的に福島県内外の有志によって結成（当初の代表は音楽家の大友良英、遠藤ミチロウと詩人の和合亮一）。2011年より毎年8月、「大風呂敷」を広げて開催する「フェスティバルFUKUSHIMA!」を中心に、さまざまな活動を通して福島の今を更新し発表し続けている。

会期中に開催する関連イベント

■ ワークショップ

●「即興！」のための準備運動

「即興」という言葉の持つイメージは人それぞれで、少しずつ違うものかもしれません。本ワークショップでは、いくつかのワークを通して、即興演奏や日常の中の「即興」の楽しさ、不思議さを体験していきます。音をよく聴くことからスタートし、即興でのアンサンブルを体験したあと、作品を見ながら「即興」について参加者と共に考えます。

2026年11月21日（土）、12月19日（土）、2027年2月13日（土）

各日 13:00～15:00

会場：ホワイエ

定員：各回15名・要申込・要入場チケット



撮影：山岡大地（YCAM）

■ ギャラリーツアー

●キュレーターと巡るツアー

本展を担当したキュレーターが、展示作品の背景や見どころを解説しながら会場全体を案内するガイドツアーです。

2026年11月15日（日）、12月6日（日）、2027年2月27日（土）

各日 13:00～14:00

集合場所：ホワイエ

ナビゲーター：西翼（YCAM）

定員：各回15名・要申込・要入場チケット



撮影：山岡大地（YCAM）

●エンジニアと巡るツアー

YCAMのエンジニアが、作品を支えるシステムや技術的な仕組みなど、制作の裏側を技術面から解説するツアーです。

2026年11月22日（日）、2027年1月24日（日）、2月21日（日）

各日 13:00～14:00

集合場所：ホワイエ

定員：各回15名・要申込・要入場チケット

ライブイベント情報

●Improvisation with Dance vol.1

新作《Dance》の展示空間そのものを舞台に、国内外の即興演奏家たちが集い、音と空間が呼応するライブパフォーマンスをおこないます。

2026年11月20日（金）19:30開演

会場：スタジオA

出演：Emilie Škrijelj、Tom Malmendie、大友良英、一楽儀光

定員：100名・チケット制

●I.S.O. ライブ@雪舟庭 Twenty-Three Years On

2002年、YCAM開館前プレイベントとして雪舟庭で開催したI.S.O.（一楽儀光、Sachiko M、大友良英）による野外ライブを23年ぶりに再演します。雪舟が造園を手がけた庭園という特別な野外空間で、夕闇に包まれながらこの場所でしか聴けない即興演奏が繰り広げられます。

2026年12月6日（日）18:30開演

会場：常栄寺雪舟庭（雨天時：常栄寺本堂）

出演：I.S.O.（一楽儀光、Sachiko M、大友良英）

定員：100名・チケット制

●Improvisation with Dance vol.2

ジャンルを超えた幅広い活動で国内外で注目を集める打楽器奏者の石若駿と大友良英が、新作《Dance》の展示空間そのものを舞台に共演します。

2026年12月20日（日）15:00開演

会場：スタジオA

出演：大友良英、石若駿

定員：100名・チケット制

※ライブ上演に伴い13:00～17:00は作品《Dance》の公開休止

※内容は変更する可能性があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

ライブ出演者プロフィール

※展示アーティストをのぞく

一楽儀光（いちらく・よしみつ）

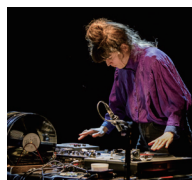
DIYエレクトロニクス



中村達也+KenKen+中尾憲太郎とのFUCKSCUMPUMK、灰野敬二との静寂、大友良英とのI.S.O、山本精一との想い出波止場、中村達也との打撃等で活躍。ARS ElectronicaにてHonorary Mention賞を受賞し、ベネチア・ビエンナーレ、サラゴサ万国、上海万博等国际的なフェスティバルに多数招待。人気テレビ番組「SMAP×SMAP」にも出演。山口市在住。

Emilie Škrijelj（エミリー・シュクリェル）

ターンテーブル



フランス出身。アコーディオンとエレクトロニクスの様々な可能性を追求してきたアーティストであるとともに、DJのスタイルとは全く異なる様々なオブジェやレコードを使った独特のターンテーブルによる即興演奏を展開、これまでも数多くの音楽家と共演、国際的に活動している新世代の音楽家。

Tom Malmendie（トム・マルメンディエ）

ドラム



ベルギー出身。実験音楽や即興演奏の分野で活動するドラマー。独特のドラムへのアプローチで、フレッド・フリスをはじめとした多くの即興演奏家たちとそのキャリアを築いてきた新しい世代の音楽家。

石若駿（いしかわ・しゅん）

打楽器

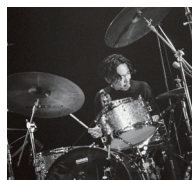


Photo by Kana Tarumi

打楽器奏者、作曲家。1992年 北海道生まれ。自身のプロジェクトとしてAnswer to Remember、SMTK、Songbook PROJECT、石若駿トリオを展開する傍ら、椎名林檎、星野源など数多くのライブ、作品に参加。MUSIC AWARDS JAPAN 2026にて、最優秀ジャズアルバム賞に石若駿トリオ『Live at ALFIE"Temporal Cubic"』がノミネートされた。

開催概要

大友良英+YCAM 新作展「即興！」

2026年10月17日（土）～2027年3月1日（月）10:00～19:00

※《Filaments Outside》のみ20:00まで

山口情報芸術センター [YCAM] ホワイエ、スタジオA、スタジオB、2階ギャラリー、中庭、山口市中央公園

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

参加アーティスト：大友良英、持田敦子、坂本龍一、Sachiko M、青山泰知、伊藤隆之

入場有料（一部無料）

※以下の日時は一部作品の展示を休止または公開時間を短縮します。

《Dance》11月20日（金）は18:00までの公開、12月20日（日）は13:00～17:00は公開休止

主催：山口市、公益財団法人山口市文化振興財団

後援：山口市教育委員会

助成：令和8年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

協力：KAB Inc.

共同開発：YCAM InterLab

企画制作：山口情報芸術センター [YCAM]

キュレーション：西翼（YCAM）

関連上映

本展の開催に合わせ、関連する映像作品の中から毎月1本をピックアップして特別上映を行います。

上映作品：「KIKOE」《再編集版》

1990年代から2007年までの大友良英の活動に焦点を当てた、大友初のドキュメンタリー映画『KIKOE』。大友本人や彼と関わりのある多くの人たちの記録映像など、膨大なアーカイブを101分に構築した再編集版を上映します。

2010年／日本／101分

監督・製作・編集・撮影・インタビュー：岩井主税

出演：大友良英、菊地成孔、大谷能生、DJ スプーキー、ヤン・シュヴァンクマイエル、足立正生、ジョナス・メカス、田中泯、I.S.O 他

会場：スタジオC

上映期間：2026年10月17日（土）～11月3日（火・祝）

料金：一般 1,200円／any会員・65歳以上・学生・障がい者（介助者1名）1,000円／小学生無料

※シネマチケット購入の際、「即興！」展の入場リストバンド提示で200円割引

◎トークイベント《手話通訳・要約筆記付き》

2026年10月25日（土）14:20～15:20 ※「KIKOE」上映後

登壇：大友良英

トークイベントは入場無料

<今後の上映予定作品>

●12月 「ASAHIZA 人間は、どこへ行く」（2014年） ●1月 「その街のこども 劇場版」（2025年）

<一般問い合わせ>

山口情報芸術センター[YCAM] 〒753-0075 山口県山口市中国町7-7

TEL: 083-901-2222 / Email: information@ycam.jp / https://www.ycam.jp/

■ 入場料

一般	1,000円
山口市民／29歳以下	500円
any 会員／18歳以下	無料
障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名	無料

※ ホワイエ、中庭、山口市中央公園は無料

■ イベント申込方法

ウェブサイト:

下記ウェブサイトを用意された申込フォームに必要事項を記入のうえ、お申し込みください。

www.ycam.jp

■ ライブチケット情報《各ライブ共通》

チケット料金【自由席】:

一般	4,000円
any 会員・障がい者割引	3,000円
25歳以下	2,000円

●Improvisation with Dance vol.2

チケット発売：10月31日（土）10:00～

チケット料金【自由席】:

一般	5,500円
any 会員・障がい者割引	5,000円
25歳以下	3,000円

※ご購入日の当日限り有効

※割引および無料は要証明書

※障がい者割引は障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名が対象

※未就学児入場不可

※託児：（I.S.O.ライブ@雪舟庭）は対象外）

各ライブ開催日の1週間前までに要申込（有料）

※any会員はセット券含め1会員2枚まで

※割引チケットは要証明書

※車椅子席については事前にお問い合わせください

チケット予約：窓口、電話、オンライン

山口市文化振興財団チケットインフォメーション

（山口情報芸術センター[YCAM]内）

TEL: 083-920-6111

（10:00～19:00 火曜休館・祝日の場合は翌日）

<https://www.ycfc.jp/>（24時間受付）

■ 特設ウェブサイト

<https://otomo-sokkyo.ycam.jp>

※各プログラムの内容は予告なく変更する場合がございます。
最新情報はYCAMウェブサイトや特設サイトをご確認ください。

